

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.17)

豊田PCB廃棄物処理事業開業式を開催

8月29日(月)、JAあいち豊田ふれあいホールにおいて開業式を執り行いました。炭谷環境省事務次官、鈴木豊田市長をはじめ、県議会議員、市議会議員、地元自治区長、豊田市PCB処理安全監視委員、近隣企業並びに環境省・県・市関係者等、多数のご列席を賜り、開催致しました。

式典後、豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)にバスで移動し、豊田施設をご見学頂きました。見学者通路からはPCB廃棄物の受入設備、解体などの前処理設備、洗浄設備、PCBの無害化処理設備などをご覧頂き、情報公開ルームでは各種情報公開設備を見て頂きました。

PCB廃棄物を安全確実に処理していきますので、よろしくお願ひします。多数のご出席を賜りありがとうございました。



開業式典



テープカット



施設見学

総合防災訓練を実施

8月23日(火)、豊田施設において豊田市消防本部等の関係機関とJESCOが連携して訓練を実施しました。当日は消防署員、市職員、JESCO、運転会社で100人を超える参加者で、万が一の事故を想定した実務訓練を行いました。

午前9時20分に、処理施設内受入設備で出火したとの想定で、まず見学者を避難誘導し、火災の状態を確認、自衛消防隊が初期消火を行い、119番に通報し、従業員が避難しました。このほか消防署との連携活動訓練、現場指揮訓練、救出救護訓練を行った後、最後に一斉放水を行い、無事、総合防災訓練を終了しました。

施設は設計段階から安全面には万全を期しておりますが、何よりも平素から従業員が安全意識を持つことが重要であると考えております。

9月から本格稼働をしておりますが、PCBを取り扱う施設の特殊災害に対し、迅速的確に対応するため、今後も市消防本部等関係機関との連携を密にし、従業員の教育・訓練を実施して安全確実な操業をしていきます。



救出救護訓練



自衛消防隊による放水訓練

特別管理産業廃棄物処分業を取得

8月15日(月)に豊田市から特別管理産業廃棄物の処分業の許可を受けました。

許可書の受理に際し、JESCOから操業に向けてのスケジュール等について説明を致しました。

この許可を頂いたことにより、操業を開始させていただいております。



豊田市環境部長からJESCO豊田事業所長へ交付

豊田市PCB処理安全監視委員会を豊田施設で開催

平成17年度第2回豊田市PCB処理安全監視委員会が、8月25日(木)に豊田施設内のプレゼンテーションルームにおいて開催されました。

JESCOから、試運転結果の報告と、環境モニタリング計画に基づく環境測定結果等について報告いたしました。また、委員の方々に情報公開設備や見学者通路で施設を紹介する設備(映像パネル、音声パネル)の内容について実際に確認していただきました。

9月からの操業状況についても、この安全監視委員会で報告を行う予定です。



事業部会、PCB廃棄物処理事業検討委員会を開催



29日 事業部会

8月29日(月)、第10回豊田事業部会(主査:田中勝 岡山大学教授)を開催しました。

PCBを使用しているトランス等を用いた試運転における豊田施設の安全対策について、計画時の処理・環境・作業の各性能を実現しているかを検証しました。

委員の方々からは、9月の操業に向けて施設に関する改善点について意見がありました。



30日 PCB廃棄物処理事業検討委員視察

また、翌30日(火)、PCB廃棄物処理事業検討委員会(委員長:永田勝也早稲田大学教授)による豊田施設視察が行われました。

永田先生は急なご都合で欠席されましたが、産業医科大学の伊規須教授、東京農工大の細見教授、横浜国立大の益永教授をはじめとする委員会及び他地区事業部会の委員の先生方13名と産業廃棄物処理事業振興財団から5名の方々が出席されました。

委員の方々からは、「試運転を通して得た不具合対応の経験を他の事業にも展開すること。」「操業にあたっては作業安全に日々留意して更なる高水準を目指すように。」等の意見を頂きました。

試運転の結果について

6月23日から実施してきた予備性能試験(PCBを安全確実に処理できることを確認する試験)を終えて8月13日午前11時から16日午前11時までの72時間(3日間)に渡り引渡性能試験を行いました。

この試験は毎日1.6tのPCBを安全確実に処理できることを確認する試験です。

この試験を行うために8月10日から徐々にフル稼働状態とし、試験期間中は卒業判定、環境保全性能、作業環境性能、電気・水・ガス・薬剤などの全ての使用量のデータを計測しました。

8月23日、24日の両日にこれらのデータの確認検査を行いました。

その結果、毎日1.6tのPCBを安全確実に分解処理できることを確認しました。なお、トランスやコンデンサは、PCBを抜油し、予備洗浄、粗解体、解体前洗浄、解体分別した後、紙や木は攪拌洗浄して真空加熱分離、金属や碍子は超音波洗浄という各処理工程を経て卒業判定後に搬出しますが、解体と搬出工程以外は24時間自動運転であるため、いずれの工程で小トラブルが発生しても、その前の工程全てを止める必要があります。よって、これに伴い派生する問題点と対応策について細部に渡り検討しました。

9月末から10月初めにこの対策のための改修工事を行うこととしています。



大型トランスフィン切断



大型トランスコア部取出し

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/p-htm/toyota.htm>